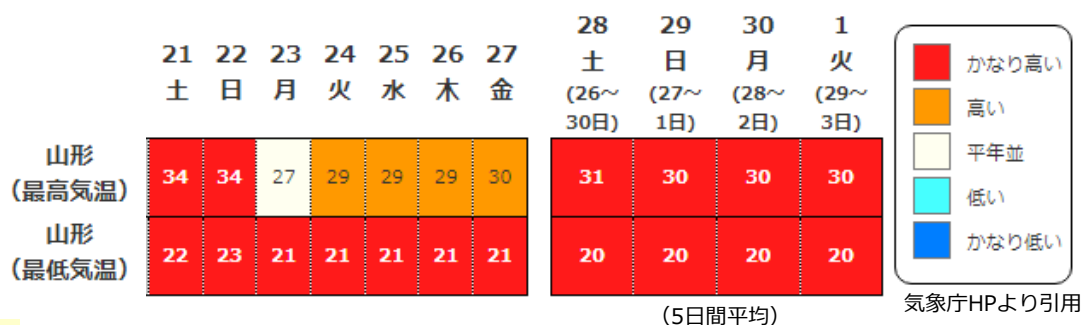


有効茎数を確保した圃場は直ちに作溝・中干し！ まだの圃場は浅水管理とワキ対策で分けつ促進！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

◎今後の気象

6月20日発表の2週間予報では、気温の高い予報となっており、特に最低気温が高い見込みです。



◎生育概況

6月20日現在の平坦部「はえぬき」の生育は、草丈は平年並み、茎数はやや少なく、葉数、葉色は平年並みとなっています。分けつが一気に進んだ圃場がある一方で、移植が遅かった圃場等では茎数が少ない状況が見られています。

平坦部「はえぬき」の生育（6月20日）

項目	調査値	平年値	平年比・差
草丈	34.4 cm	34.9 cm	99 平年並み
茎数	418 本/m ²	433 本/m ²	97 やや少ない
葉数	8.0 枚	8.0 枚	±0.0 平年並み
葉色 (SPAD)	41.6	41.1	+0.5 平年並み

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

◎当面の技術対策

圃場によって生育のバラつきが大きくなっています。まずは圃場に行って生育状況を確認しましょう。

(1) 有効茎数を確保した圃場は、直ちに作溝・中干し！

有効茎数（「はえぬき」：内陸 480本/m²、庄内 540本/m²）となった圃場は、直ちに作溝・中干しを行って、生育を制御しながら充実した茎を確保し、穂肥がしっかり行える稲姿にしていきます。特に庄内地域では、茎数を十分に確保した圃場が多くみられません。早急に生育状況を確認し、遅れずに作溝・中干しに入りましょう。

(2) 茎数不足の圃場では、浅水管理とワキ対策で分けつ促進！

茎数が不足している圃場では、引き続き水深2～3cmの浅水管理として日中は止水し、分けつを促進します。今後は最低気温が高い予報となっていますので、かん水は夜間に行いましょう。

土壌の異常還元（ワキ）の影響で、茎数が不足し、葉色が低下している圃場では、直ちに夜間落水や田干しを行い、根圏環境の改善を図り、6月中に有効茎数を確保しましょう。また、穂肥前には中干しを終了できるよう、遅くとも7月に入ったら作溝・中干しを開始しましょう。

(3) 効率的な水管理には作溝が不可欠

作溝を行うことで、中干しの効果が高まります。また、効率よく圃場全体に水を行き渡らせることができるため、登熟期の水管理がしやすくなります。

3か月予報では8月の気温は高くなる見込みです。しっかりと作溝を行って暑い夏に備えましょう。

また、関係者で効率的な用水利用について話し合い、地域全体に用水が行き渡るように準備しましょう。



(4) 病虫害対策 ～カメムシ対策の徹底！葉いもち発生に注意！～

県病虫害防除所の6月4半旬の調査では、斑点米カメムシ類の発生は平年より「やや多い」状況です。地域ぐるみで水田内の雑草対策や畦畔及び農道等の草刈りを励行し、斑点米カメムシ類の生息密度低下に努めます。

6月3、4半旬にいもち病感染に好適な気象条件の日があったことに加え、今後も好適な条件となる予報であるため、圃場をしっかりと観察して、葉いもちの早期発見、早期防除を徹底します。

つや姫の生育と技術対策

6月20日現在の「つや姫」の生育は、平年と比較して、草丈はやや長く、茎数、葉数、葉色は平年並みとなっています。

圃場を確認し、すでに有効茎数（内陸：410本/m²、庄内：440本/m²）が確保されている場合は、直ちに作溝・中干しを行います。生育をコントロールして、穂肥がしっかり行える稲姿にしましょう。

「つや姫」の生育（6月20日）

項目	調査値	平年値	平年比・差
草丈 (cm)	38.4	36.7	105 やや長い
茎数 (本/m ²)	442	442	100 平年並み
葉数 (枚)	8.2	8.0	+0.2 平年並み
葉色 (SPAD)	41.5	41.4	+0.1 平年並み

6月30日生育指標

項目	内陸	庄内
草丈 (cm)	48	45
茎数 (本/m ²)	500	540
葉数 (枚)	9.3	
葉色 (SPAD)	40	

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！

農薬はラベルをよく読んで使用しましょう！

農薬危害防止運動実施中

